

技術研究所

## 山本 貴弘

2017 年入会

環境情報学府 環境システム学専攻 修了



### 今までの経歴を教えてください

技術研究所（取材時）

### 現在のお仕事は？

#### ドローンやロボットで船舶検査をサポートする。

弊会は船の安全と環境保全を維持するため、独自に規則を制定し、建造中と就航後の船舶がこれらの規則に適合していることを証明するための検査を実施しています。こういった検査技術のいっそうの品質向上と合理化をめざし、私は技術研究所職員として検査サポートツールの調査研究や開発に取り組んでいます。また最近では、船舶の一生のデータを一元管理しデジタル上に3次元モデルで再現する、デジタルツイン技術についても取り組んでいます。近年急速に向上しているデジタル化やAI・IoT、ドローン、ロボティクス等の技術シーズと海事業界ニーズを統合し、船級協会としてのアウトプットを探していくやりがいのある仕事です。

#### 若手のうちから大きなプロジェクトに携われる。

小型無人航空機(ドローン)に関する技術は急速に進歩しており多様な分野での活用が始まっていますが、船舶内でドローンを飛行させる場合には、磁性体で囲まれた閉空間という船舶の特殊な環境を考慮する必要があります。そこで、基本性能実験や実際の船舶内での飛行試験を通じて各種検証を行いました。私は大学院時代にドローンの制御システムに関する研究を行っていたのですが、この経験を業務に活かせることは大きな喜びでした。これらの検証に加え、社内外の関係者にご協力頂きながら作り上げた「船舶検査におけるドローン使用に係るガイドライン」が完成したときは大変感動しました。

### どうしてNKを選んだのですか？

#### 中立的な立場から、海の安全を守る。

独立した第三者機関として、図面審査・船舶検査・各種認証・研究開発等の幅広い業務を通して船舶の一生をサポートできるという点に強く惹かれました。世界中の海を舞台に活躍する船舶を対象にしているため仕事のスケールが大きく、日々のモチベーションに繋がっています。若手のうちから責任ある仕事を任せてもらえる点も、魅力の1つだと感じています。弊会は120年にわたる歴史の中で取り組んできた船級事業を軸に、多岐にわたる技術サービスを提供しています。海上における人命と財産の安全確保及び海洋環境の保全という使命を成し遂げるため、全力で挑戦できるフィールドが広がっています。海の安全を守る、ロマンある仕事にぜひ一緒に挑戦しませんか。



### 学生・就活中の方へメッセージ

就職活動の時期は、様々な企業に出会えるチャンスです。希望業種や会社規模等に拘らず、できるだけ多くの説明会に参加することをお勧めします。多くを知り徹底的に考え抜くことで、自ずと道が見えてくると思います。周りを見て焦ることはあるかと思いますが、自分には自分の道が必ずありますから、マイペースに取り組んでみてください。